

～明和町を広く全国にPRを～

町長が明和町観光大使 長岡成貢さんと萩尾望都さん と対談

町では観光振興施策の一環として、明和町にゆかりのある方や明和町に愛着があり、観光振興施策にご尽力をいただける方のご協力をいただき、明和町のPRと観光客の誘客を図る「明和町観光大使事業」を実施しています。第1号としてご就任いただいた明和町出身の作曲家 長岡成貢さんから、11月にご就任いただいた漫画家の萩尾望都さんまで、11月末現在で34人の方が明和町観光大使としてご活躍いただいています。

11月13日には中井町長が東京都内において長岡成貢さん、萩尾望都さんと対談し、明和町のPRと情報発信にお力沿えをいただくようお願いしました。

長岡さんは、当町を代表するまつりである斎王まつりのテーマ曲として組曲「斎宮物語」を制作されました。この曲は第3楽章まであり、第1・第2楽章は斎王群行のテーマ曲、第3楽章は「斎王の舞－慶びの章－」として制作され、その曲にあわせて振り付けされた舞は現在、斎王の舞保存会の方々によって保存・継承されています。現在も多数の人気アーティストへの楽曲提供のほか、ドラマ、映画など様々な音楽制作に携わってられます。

萩尾さんは、少女漫画で数々の人気ヒット作を描かれていますが、前回の伊勢神宮式年遷宮の年（平成5年）に、「王朝口マンのまち明和町」を広く全国にPRするため開催した「王朝口マンフェスタ in 明和」での野外音楽群衆劇「斎王夢語」の原作を手掛けられました。この劇は斎宮跡の美しい景観を利用した舞台において、プロの役者と大勢の地元の皆さんがひとつになって共演するという画期的な方法により盛大に催されました。

なお、萩尾さんは平成24年に紫綬褒章を受章されています。



長岡成貢さん



萩尾望都さんと町長



萩尾望都さん原作
「斎王夢語」



園児らが収穫を体験

11月19日、三井ファーム明和生産組合圃場で地元園児らが参加して御蘭大根の初収穫が行われました。

この取り組みは、みえセレクトで認定された「伊勢たくあん」の原料でもある御蘭大根の収穫時期に合わせ、地元の幼稚園児とともに大根の初収穫を行うと三重県漬物協同組合と御蘭大根栽培研究会が実施したものです。

収穫には、行政関係者や旭ヶ丘幼稚園の園児たちなどが参加し、広さ40アールの畑一面に育った瑞々しい大根を収穫しました。

御蘭大根は、全体的に白く

だいこん収穫体験

【幼稚園児らが収穫】

て長く、やや酸味があるのが特徴で、干すと甘みが増すことから 主にたくあんの原料として用いられています。

かつて、明和町は御蘭大根の一大産地でしたが、漬物消費の減少にもない、栽培農家も減少しました。しかし、伊勢たくあんを復活させようという試みから3年前に御蘭大根栽培研究会が発足し、大根の生産やPRに取り組んできました。

今年の収穫では、約4000本の御蘭大根の収穫が見込まれているということです。



抜けるかな